

『国立大学等施設緊急整備5か年計画』 の一層の推進

H13.4 第2期科学技術基本計画を受け策定
重点的整備 ~ 緊急的に必要な整備約600万㎡
(所要額約1兆6千億円)

優先的目標 (約210万㎡)

大学院施設の狭隘解消等 (約120万㎡)

卓越した研究拠点等 (約40万㎡)

先端医療に対応した大学附属病院 (約50万㎡)

老朽化した施設の改善 (約390万㎡)

システム改革 ~ 大学改革と一体となった施設の効率的・弾力的利用などに取り組む

- ・全学的な視点に立った施設管理運営システムの構築
- ・各学部等が共有する総合的・複合的な研究棟を整備
- ・PFI等新たな整備手法の導入

重点的、計画的な施設整備の実施

□ は、平成17年度概算要求である。

